

公益社団法人 大津市シルバー人材センター
令和5年度事業報告

1 総括

令和5年度は、5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」から「5類」に引き下げられ、3年余り続いた行政による様々な要請・関与が無くなるなど、コロナ対策が大きな節目を迎えた年となりました。

経済面では、日米の金利差等による円安が加速し、USD/JPYの為替レートは、2023年度中に+14.3%上昇しました。（米ドルの価値が日本円に比べて上がりました。）国内では、日経平均株価が11月から12月にかけて3万3,800円台を付け、約33年ぶりに高値を更新しました。株価はその後にも上昇傾向が続き、令和6年3月22日には一時4万1千円台を付けるなど、将来に向けての明るさを感じられる年となりました。一方、令和5年1年間の全国消費者物価指数は、変動が大きい生鮮食品とエネルギーを除き、令和2年を100として104.5、前年比で4.0%の上昇となり、昭和57年の第二次オイルショック以来、41年ぶりの高い伸び率を記録しました。生鮮食品を除く522品目のうち、約90%にあたる455品目が値上がりしており、多くの世帯が物価高騰の影響を受けることとなりました。春闘での賃上げ率も30年ぶりの高水準となりましたが、物価高に賃上げが追いつかず、実質賃金は前年比マイナス圏で推移することとなりました。

また、消費税法が改正され、10月からインボイス制度が導入されたことに伴い、センターが負担する消費税を捻出するため、事務費率を10%から12%に引き上げたほか、最低賃金の引き上げに対応するため、配分金基本単価を930円から1,000円に改定しました。

フリーランス保護の動きについては、令和5年2月28日に「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」（いわゆる「フリーランス新法」）が可決成立し、5月12日に公布されました。今年の秋には施行される予定であることから、法に定められた就労条件の明示等がしっかりとできるよう、会員の皆様にはインターネットを活用した情報提供サービスである会員専用WEBサイト「Smile to Smile」への登録をお願いしています。

こうした中、令和5年度の事業実績につきましては、契約金額ベースでは、令和4年度実績よりも1.9%（9,519千円）の増加となりました。しかし、その内訳を見ると、受託事業収益が119万5千円の減（対前年度比△0.38%）、収益事業が749万6千円の減（対前年度比△10.1%）であったのに対し、派遣事業が契約金額で、前年度と比べて1,821万1千円増の、1億3,387万2,472円（対前年度比+15.75%）と大きく伸びたためであり、派遣事業が、請負事業や収益事業の減少分を補填する形となりました。ただし、シルバーの収入となる

手数料ベースでは、派遣手数料が対前年度比 174 万 9,963 円増の 1,104 万 8,434 円に留まったことから、請負、派遣および訪問介護の事業収益としては、前年度に比べて 694 万 2,033 円のマイナスとなりました。

既存の事業収益が落ち込んだ原因としては、請負事業では、指定管理者の変更により大口の請負契約が取れなかったことや夏場の記録的猛暑により屋外での作業日数が減少したこと、また、訪問介護分野では、大口の利用者の施設入所や入院による一時利用停止が多かったこと等が挙げられます。景気が上向きになってきている中で請負事業や訪問介護事業の実績が落ち込んだことは、センターの安定的な収益の確保という観点からは課題を残す年となりました。

令和 5 年度決算は、公益目的事業で 318 万 2 千円余の赤字となり、前年度実績の 711 万 3 千円余の赤字と比べると改善した状況と言えます。これは、労働者派遣事業が大きく伸びたことと、支出を極力抑制したことによるものと考えられます。収益事業は、前年度と比べて 547 万 3 千円減の 269 万 3 千円余の黒字でしたが、当センターの全体決算は、489 千円の赤字となりました。

なお、明け渡しを求められている長等作業所駐車場については、令和 5 年度中に作業所部分を含めた代替施設を確保することができませんでした。このことから、駐車場の土地所有者には 1 年間の猶予を承諾していただきましたが、令和 6 年度中には新たな作業場所を確保する必要があり、引き続き、大津市の協力を得て、移転先を探すこととしています。

2 センター事業の実施について

令和 5 年度において当センターでは、公益目的事業として「請負事業」、「労働者派遣事業」および「職業紹介事業」、収益事業として「訪問介護事業」および「介護予防事業（総合事業）」を行いました。また、(公社)滋賀県シルバー人材センター連合会からの委託を受け「高齢者活躍人材確保育成事業」を行いました。

(1) 公益目的事業

① 請負事業

区 分	契約金額(千円)		差引増減	就業延人員(人)		差引増減
	R4年度	R5年度		R4年度	R5年度	
除 草	93,752	89,101	△4,651	10,146	8,787	△1,359
清 掃	68,451	71,932	+3,481	16,348	15,688	△660
剪 定	70,476	73,077	+2,601	6,020	5,777	△243
放置自転車 撤去啓発	6,600	7,760	+1,160	1,585	1,770	+185
カート整理	8,495	8,928	+433	1,823	1,816	△7
表装・表具	3,193	2,987	△206	423	392	△31

筆 耕	5,005	4,948	△57	2,415	2,397	△18
管 理	14,965	16,812	+1,847	5,667	5,696	+29
大工・左官 ・塗装	3,777	3,390	△387	201	189	△12
生活支援等 サービス	26,341	21,012	△5,329	10,637	8,854	△1,783
くらしの便 利屋	1,027	1,024	△3	462	336	△126
その他	14,834	14,749	△85	10,927	10,142	△785
合 計	316,916	315,720	△1,196	66,654	61,844	△4,810

令和5年度の公益事業は、全般的に就業延人員数・契約金額ともに昨年度を下回る結果となりました。業務別に見ると、除草は、大口であった市企業局用地の指定管理者が変更したことにより仕事が確保できなかつたことが大きく影響し、対前年度比4,651千円の減となりました。事業実績が前年度を上回った事業もありますが、事務費率と配分金基本単価を引き上げたことを考慮すると、事業実績は前年度を下回ったものと考えられます。

剪定作業は、事務費率と配分金基本単価を引き上げたことで、対前年度2,601千円の増となりましたが、担い手の不足や就業会員の高齢化、夏場の猛暑期間の安全確保等が課題となっています。表装・表具と筆耕は受注件数が伸び悩み、契約金額が減少しています。管理は、若干の増加でしたが、大工・左官・塗装は減少しました。生活支援等サービスは、子育て支援サービスで受注していた保育園の仕事（約4,474千円、1,177人）を労働者派遣に切り替えたため、大きく減額となり対前年比20%の減となりました。

② 労働者派遣事業

労働者派遣事業は件数が前年度より17件の増加、契約金額でも18,211千円の増加となりました。スーパーへの派遣とともに、病院への派遣、発掘調査および事務補助などへの派遣を行うことができました。

年度	派遣先数	契約金額	就業実人員	就業延人員
R5	106件	133,872千円	286人	22,701人
R4	89件	115,661千円	255人	19,836人
差引	17件	18,211千円	31人	2,865人

③ 職業紹介事業

当センターはハローワークと同様に高齢者向けに職業紹介を行うことができます。企業等からの求人依頼を受け、センターが毎月発行する「お仕事情報」に求人情報を掲載しています。「有償の職業紹介」として運用できますが、より多くの求人がいただけるよう、現在のところ手数料率0%の「無償の職業紹介」としてしています。令和5年度は、選挙投票日の立会人等、選挙に係る求

人を数多く紹介することができました。

年度	紹介依頼企業数	求人者数	応募者数	採用者数
R5	32社	105人	123人	81人
R4	33社	86人	82人	41人
差引	△1社	+19人	+41人	+40人

(2) 収益事業

令和5年度収益事業（訪問介護事業等）の契約金額は、サービス利用者の施設入所等が重なったことから、対前年比約10%の減少となりました。

しかしながら、団塊の世代全員が、後期高齢者となることで生じる様々な影響、いわゆる「2025年問題」が懸念されている状況の中、訪問介護を希望される高齢者等が今後増加していくことは明らかであり、これら高齢者等の要望にお応えできるよう当センターの訪問介護や総合事業の充実を図ることが大切だと考えています。

区分	年度	契約金額	就業実人員	就業延人員
訪問介護	R5	54,193千円	92人	16,327人
	R4	58,754千円	88人	16,961人
	差引	△4,561千円	+4人	△634人
総合事業	R5	12,428千円	65人	3,909人
	R4	15,364千円	61人	4,873人
	差引	△2,936千円	+4人	△964人
合計	R5	66,621千円	94人	20,236人
	R4	74,118千円	88人	21,834人
	差引	△7,497千円	+6人	△1,598人

3 重点事業の取組みについて

(1) 安全意識の高揚と適正就業の推進

令和5年度は重点事業として、『「傷害事故及び賠償事故ゼロ」を目指した取組みの推進』を掲げ、事業に取り組んできましたが、結果的に、12件（傷害事故9件、賠償事故3件）の事故が発生しました。全体の事故件数は、令和元年度以降、減少傾向にはあるものの（元年度21件、2年度17件、3年度10件、4年度14件）、令和5年度は、傷害事故件数が直近5ヶ年で最も多く発生しました。中には、重篤事故（6ヶ月以上の入院）につながる恐れがある事故も発生しています。一方、これまで数多く発生していた飛び石による賠償事故は1件のみに留まりました。

シルバー事業として、健康延伸を就業の目的の一つとしていることから、令和6年度も引き続き、“安全はすべてに優先する”を基本に、安全・適正就業の推進を重点事業に位置付け、会員一人ひとりの安全意識の高揚に取り組むこととしています。

なお、令和5年度中に実施した取組みは以下のとおりでした。

① 職群班長会議における事故事例等の報告

職群班長会議で事故発生件数や事故事例を報告し、安全確保等の方策検討を行いました。

② 安全パトロールの実施

安全パトロールを「安全パトロール点検表」に基づき実施しました。点検結果は、すべての項目で高評価でした。

実施時期 令和5年7月・11月

パトロール箇所 除草・剪定作業現場

③ 安全・適正就業推進大会の開催

安全意識の高揚を図るため安全・適正就業推進大会を開催しました。

開催日時 令和6年3月22日（金）

午後1時30分～午後4時まで

開催場所 大津市生涯学習センター

参加人員 165名

④ 剪定・除草作業の安全確保

重篤事故につながる恐れがある剪定作業について、安全意識の高揚と安全対策の強化を図るため、安全管理物品（殺虫剤、救急箱、安全作業看板等）の整備を行いました。

⑤ シルバー川柳の募集による安全意識の啓発

会員参加型の意識啓発事業として、会員対象に「安全就業」を基本テーマにしたシルバー会員川柳を昨年度に引き続き募集しました。

選考委員会を開催し、最優秀賞1点、優秀賞4点を選出し、3月22日（金）に開催した安全・適正就業推進大会で表彰を行いました。

(2) 就業機会の拡大等に向けた取組みの推進

受託事業の拡大を図るため、機会あるごとに大津市や企業等に働きかけを行いました。この取組み自体は、すぐに成果が出るものではないことから、粘り強く多方面にシルバーのPRを行うとともに、仕事を切り分けして具体的な提案を行うなど、引き続き対応方策を検討していきます。

(3) 「あなたのまちにシルバー会員」推進運動の継続実施等による会員拡大

- ① 会員拡大の具体的目標として、市内の全町丁に会員が少なくとも1名以上在籍することを掲げ、自治会規模でのプチ出張入会説明会を比叡地域で開催しました。地域委員会の協力を得て、事前に近隣地域に1,000枚の案内チラシを配布し参加者の確保に努めました。また、地元自治連合会の協力も得て、自治会回覧等の活用で周知に努めました。その結果、未在籍町丁はなくなりませんでした。2名の参加があり、うち1名（男性1名）の入会者

がありました。令和6年度においても引き続き地域密着の入会説明会を開催することにより、会員の拡大を図っていくこととしています。また、当日は、スマホ相談会を同時開催しました。

令和6年2月27日(火) 下阪本コミュニティセンター

参加者2名(男性1名、女性1名)、入会者1名(男性1名)

- ② 令和5年度末の会員数は前年度末より10名増加し1,664名となりました。入会を促進するため、入会説明会を開催したほか、各種広報により、シルバー人材センターの活動内容をPRしました。

ア 入会説明会および出張入会説明会の開催等

1人でも多くの市民の皆さんに入会いただけるよう大津市役所中央公民館で行う「一般入会説明会」に加えて、木戸公民館、堅田公民館、晴嵐公民館、南郷公民館および瀬田東公民館の5ヶ所で「出張入会説明会」を開催しました。また、ホームページを活用した随時入会を推奨しました。

イ 「Make 2nd Life 2023 入会説明会」の開催

ブランチ大津京で、恒例となった「Make 2nd Life 2023 入会説明会」を開催しました。商業複合施設を会場とすることで、広くシルバー人材センターの認知度向上を図るとともに、活動状況を紹介するパネル展示や木工おもちゃなどを販売する会員手づくり市を開催しました。会員手づくり市は会員に広く出品を呼び掛けました。

開催日 令和5年10月21日(土)・22日(日)

場 所 ブランチ大津京(大津びわこ競輪場跡地)

入会説明会参加者 34名

会員手づくり市への参加 7店舗

会員手づくり市の売上げ 221,180円

入会説明会の区分	開催回数	参加者数	入会者数	備考
一般入会説明会	22回	226人	193人	
出張入会説明会	5回	76人	40人	木戸・堅田・晴嵐・南郷・瀬田東
プチ出張入会説明会	1回	2人	1人	下阪本コミュニティセンター
Make2ndLife 入会説明会	4回	34人	18人	2日間開催
随時入会	—	10人	10人	
合 計	32回	348人	262人	

(4) 将来を見据えた、事務を担ってもらえる会員の養成とスキルアップ

剪定業務を担う後継者を養成するため、見習い制度を導入しました。令和5年度中に13名がこの制度を活用して剪定業務に従事されています。また、歴史ある当センターの筆耕業務を承継していくため、筆耕講習会を10回実施し、後継者の発掘、育成を図りました。

そのほか、くらしの便利屋講習会を1回、生活支援や子育て支援の中でお

家の中のお掃除講習会を1回、表装表具講習会を計4日間開催し、それぞれ就業会員の確保と知識・技術の向上を図りました。

(5) 現行中長期経営計画の総括と新たな計画策定に向けた準備への着手

現行中長期経営計画の計画期間（平成30年度(2018年度)～令和6年度(2024年度)）が令和6年度で満了することから、計画期間中の事業実績等のとりまとめや関係資料の収集に取り掛かりました。

「進行管理委員会」は開催できませんでしたが、現行計画期間中の取組み状況については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、総体的に低調な事業実績で推移する現状を踏まえ、まずはコロナ前の業績への回復を図るとともに、少子・超高齢社会が更に進行する中で、高齢者が地域社会で一定の役割を担いながらいきいきと生活できる社会が実現できるよう、新たな計画を策定することとしています。

4 その他の取組みについて

(1) 就業率の向上

就業率の向上を図るため、新規業務の獲得に取り組みましたが、令和5年度の実績は61.6%で、令和4年度の61.2%と比べて0.4ポイントの微増に留まりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で就業が減少した令和2年度の実績(66.9%)よりも5.3ポイント下回っており、計画の令和5年度数値目標(78.4%)と比べると16.8ポイント下回る状況です。

就業率の向上には多様な就業機会の確保のほか、分かち合い就業の推進等様々な課題があることから、分かち合い就業推進委員会を中心に抜本的な検討を引き続き行っていきます。

(2) 収益事業（訪問介護事業等）の推進

令和2年度に取りまとめた「訪問介護事業見直し検討結果報告書」に基づき、5つの改善方策（会員の確保、育成、サービスの充実、処遇および会員間の交流推進）に取り組まれました。新入会員や初心者会員には、就業に対する不安を解消するため、サービス提供責任者やベテラン会員の同行訪問を実施しているほか、月末報告会で話し合う機会を設けて、その不安の解消に努めています。また、新規契約の拡大が推進されるよう、新規利用者への就業には、追加配分金を支給しています。居宅介護支援事業所等への営業活動の強化にも取り組み始めましたが、訪問介護と総合事業を合わせた実績額は残念ながら前年度を下回ることであります。要介護度の高い利用者の施設入所や一時入院による休止等が重なったこと等が影響したと考えられるものの、訪問介護事業の収益は、当シルバーの経営の安定に欠かせない収益源であることから、一層の営業活動の強化等に取り組む必要があると考えています。

(3) 会員が主役になる事業（独自事業）の推進

会員が講師を務める「シルバーカルチャー講座」を開催しました。会員の有する豊富な知識や特技等を活かすとともに会員相互の親睦を図ることを目的に開催しているもので、本年は、ヴォイストレーニングや毛筆講座、生伴奏で歌を歌う講座など、会員の有する豊富な知識や特技等を生かしたユニークな5講座が開催されました。また、令和5年度は、通年で開催される講座もあり、延べ178名の方が参加されました。

また、「Make 2nd Life 2023 入会説明会」では、木工おもちゃなどを販売する会員手づくり市を開催しました。会員手づくり市は会員に広く出品を呼び掛けました。

どちらの事業も、毎年、参加者から好評を得ている取組みであることから、今後も引き続き開催し、会員の自己実現や生きがいを応援していきます。

(4) 会員の安全・安心なデジタル利用の推進

会員のデジタル利用を促進するため、高齢者活躍人材確保育成事業やデジタル利用推進事業を活用し、パソコンやスマホの研修を実施しました。

① 高齢者活躍人材確保育成事業（受託事業）

社会の様々な分野でデジタル化が進む中、高齢者のデジタル格差を解消し、IT機器を使うために必要な知識・技能を得ることを目的に、「パソコン・スマホ研修」を9月～10月に計8日間実施しました。パソコン研修では、ワードやエクセルを用いて自治会の案内文や決算書を作成したほか、パワーポイントでの自己紹介スライドの作成にチャレンジしました。スマホ研修は、カメラやマップ機能が自由に使えることを目指したほか、LINEやグーグルレンズを体験しました。昨年度に引き続き、定員を大幅に超える受講申し込みをいただき、会員の皆さんの関心の高さを窺うことができました。次年度も同様に研修会の開催を計画する予定です。

実施事業名：「地域ITサポート支援員」養成講座 定員15名

開催回数	参加実人員数	参加延人員数
8回	19人	132人

講座内容	ワード研修	1回
	エクセル研修	3回
	パワーポイント研修	1回
	スマホ研修	3回

② デジタル利用推進事業（受託事業）

センターのデジタル環境を整備するとともに、シルバー会員のデジタル利用が推進されるよう、2月に「スマホ研修」を2日間実施しました。マイナポータルの活用方法などのほか、アプリのインストール方法やLINEの利用方法等について学習しました。

また、比叡地域で開催した自治会規模のプチ出張入会説明会では、おうちデジタルサポーターの協力を得て、入会者を対象にしたスマホ相談会を開催しました。

開催回数	参加実人員数	参加延人員数
2回	13人	22人

講座内容 スマホ研修 2回

(5) 円滑な地域委員会活動のための支援

14の地域委員会では会員相互の連携・親睦を深めることを目的に、役員会議、ボランティア活動および親睦事業等が開催、実施されました。

毎年、数多くの高齢者が参加されるシルバーグラウンドゴルフ大会が地域委員会対抗としていることから、グラウンドゴルフを通じた親睦に取り組みられる地域委員会も増えました。

① 地域ボランティア活動

○ 実施回数 70回

○ 参加延人員 731人

ボランティアの内容	実施回数	参加延人員数
JR駅前花壇の花苗植栽	1回	5人
スクールガード	14回	53人
神社の清掃	11回	231人
幼稚園、小学校の除草、清掃、工作等	21回	197人
公園や園児交通事故現場の除草等	11回	72人

② 「シルバー環境美化の日」(全国のシルバー人材センターが一斉に実施)

実施日 令和5年10月17日(火)・18日(水)・19日(木)

参加人員 173名

(6) 広報活動の強化・充実

ア ホームページによるセンターの周知

センターのホームページを随時更新し、センターの実施事業等の周知を図りました。令和5年度のホームページ閲覧回数は延193,551回です。

イ 新聞折込チラシの全戸配布

「Make 2nd Life 2023 入会説明会」の開催に合わせ、開催の告知とシルバー人材センターの認知度向上を図るため新聞折込によるチラシの全戸配布を行いました。

- 実施日 令和5年10月15日(日)
- 配布部数 78,650部(以下7紙の新聞購読世帯へ配布)
朝日新聞・毎日新聞・読売新聞・日経新聞・産経新聞・
中日新聞・京都新聞
- ウ 広報用パンフレット、チラシ等の配布
 - 広報用パンフレット(入会説明会開催案内や機関紙等)を大津市の協力を得て市内各支所および大津市役所新館市民ロビーに配架しました。
 - 出張入会説明会の開催に合わせ、開催告知とセンター広報を兼ねたチラシを作成し、会場周辺にポスティングしました。ポスティングは地域委員会に協力を依頼しました。
- エ 女性会員向けセミナーの開催
女性会員の拡大を目的に女性に歓迎されるセミナーの開催で、女性会員拡大を図りました。
 - 羊毛フェルト「シルバー手芸教室」
開催日 令和5年12月13日(水)13時30分から
開催場所 中央市民センター3階
参加者 9名

(7) 適正かつ円滑な請負事業の執行

職群班長会議等の場を活用し、安全・適正就業の推進と事業実施に係る諸課題の解決に努めました。分かち合い就業の推進には、各班長等の努力のほか、会員の理解が欠かせないことから、引き続き試行錯誤しながら、取組みを進めていくこととしています。

(8) 会員相互の親睦の確保

会員相互の親睦を図ることは、「高齢者の健康で生きがいのある生活の実現」する上でもシルバーの重要な取組みです。新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類になって初めての開催となりましたが、会員募集も兼ねて平成30年から実施している「グラウンドゴルフ大会」等を開催することができました。

① グラウンドゴルフ大会

- 開催日 令和5年11月24日(金)
※雨天のため17日から24日に順延になりました。
- 開催場所 皇子山総合運動公園陸上競技場
- 参加人員 164名(うち会員50名、一般114名)

② 写真クラブ

当センターでは高齢者の就業確保に留まらず、会員の趣味・特技を応援するシルバーを目指すことも目標の一つとしています。

本年度も「Make 2nd Life 2023 入会説明会」で写真展示会を開催したほ

か、秋と冬に撮影会を開催しました。

③ しろがねコーラス

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、月2回程度の練習を再開しています。

④ 会員親睦旅行

令和6年2月21日(水)に34名の参加を得て「嵐山・渡月橋と京都御所見学の旅」を実施しました。この事業は、会員拡大を目的に会員に限定することなく募集しているもので、嵐山では組紐でストラップづくりに挑戦し好評でした。

(9) 健康推進に向けた取組みの実施

会員の健康な生活を応援するため、株式会社カーブスジャパンの協力を得て、「Make 2nd Life 2023 入会説明会」において参加者に血管年齢測定を実施しました。

(10) 介護分野就業機会促進事業の推進

人手不足が顕著になっている介護事業所において、介護事業の周辺業務の切り出しを提案し、介護分野の担い手として会員の新たな就業機会を創出しました。人手不足の状況等を調査するため、大津市内の介護事業所273ヶ所に対してアンケートを実施し、施設利用者の見守り等介護補助業務や送迎業務を創出することができました。

5 センターの役員会議等の開催について

各種会議について、感染症拡大に留意しながら、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、熱心な検討をいただきました。

会議名	開催回数	所属役員数
理事会	6回	17名
執行役員会議	6回	3名
事業部会	1回	4名
福祉部会	6回	7名
地域委員長会議	6回	16名
広報委員会	11回	8名
分かち合い就業推進委員会	3回	6名
除草・清掃班長会議	6回	14名
剪定班長会議	5回	6名

(詳細は各種会議行事等参照)